

I-4-(15) 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。 15

【判断基準】

- ア トイレに行くことをせかしたり、強制したりせずに、一人一人のリズムに合わせてるようにしている。
- イ おもらしをしたときに、その都度やさしく対応し、子どもの心を傷つけないよう配慮している。
- ウ 衣服の脱ぎ着に際して、せかしたり、着せてしまったりしないで、自分でやろうとする子どもの気持ちを大切にしている。
- エ 子どもが自分で着脱しやすいように、衣類の整理の仕方や着方の援助について工夫がみられる。
- オ 休息時には、子守歌を歌ったり、背中を軽くたたくなど、安心して心地よい眠りにつけるように配慮している。
- カ 休息時間以外でも、一人一人の状況に応じて、眠らせたり、身体を休ませるようにさせたりしている。
- キ 休息時間に、眠くない子どもへの配慮をしている。

【総合判断基準】

- a..一人一人の子どもの状況に応じてよく対応している。
- b.どちらかといえば対応している。
- c.対応していない。

I-4-(16) 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。 16

【判断基準】

- ア 子ども発達段階に即した玩具や遊具が用意されている。
- イ 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
- ウ 好きな遊びができるコーナーが用意されている。
- エ 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。

【総合判断基準】

- a.環境がよく整備されている。
- b.どちらかといえば整備されている。
- c.整備されていない。

I-4-(17) 身近な自然や社会と関われるような取り組みがされている。 17

【判断基準】

- ア 子どもが身近に動植物に接する機会をつくっている。
- イ 園庭や散歩で拾ってきた葉や木の実など、季節感のある素材を活用している。
- ウ 散歩などで地域の人たちに接する機会をつくっている。
- エ 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。

【総合判断基準】

- a.よく取り組みがなされている。
- b.どちらかといえば取り組みがなされている。
- c.取り組みがなされていない。

I-4-(18) さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。 18

【判断基準】

- ア 子どもが自由に歌ったり、踊ったりする場面がみられる。
- イ さまざまな楽器を楽しめるようになっている。
- ウ クレヨン・絵具・粘土・紙など、様々な素材を子どもたちが自分で使えるように用意されている。
- エ 子どもの作品が保育に活かされたり、工夫して飾られたりするなど、大切に扱われている。
- オ 身体を使った様々な表現遊びが取り入れられている。
- カ 絵本の読みきかせや紙芝居などを積極的に取り入れている。

【総合判断基準】

- a.よく配慮されている。
- b.どちらかといえば配慮されている。
- c.配慮されていない。

I-4-(19) 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。 19

【判断基準】

- ア 子ども同士の関係をよりよくするような適切な言葉かけをしている。
- イ けんかの場面では、危険のないように注意しながら、子どもたち同士で解決するように援助している。
- ウ 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
- エ 当番活動などが日常生活の中で行われている。
- オ 異年齢の子どもの交流が行われている。

【総合判断基準】

- a.よく配慮されている。
- b.どちらかといえば配慮されている。
- c.配慮されていない。

I-4-(20) 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。 [20]

【判断基準】

- ア 子どもが、自分の意見を保育者などの大人にはっきり言うことができるよう配慮している。
- イ 子どもが、他の子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。
- ウ 一人一人の子どもの生活習慣や文化、考え方などの違いを知り、それを尊重する心を育てるよう努めている。
- エ 子どもの人権への配慮や互いを尊重する心を育てるための具体的な取り組みを行っている。
- オ 子どもの権利擁護に関する研修等に職員が参加している。

【総合判断基準】

- a.よく配慮されている。
- b.どちらかといえば配慮されている。
- c.配慮されていない。

I-4-(21) 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。 [21]

【判断基準】

- ア 「男の子だからめそめそするな」などと、子どもの態度について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。
- イ 「それは女の子の色」などと、子どもの服装について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。
- ウ 「それは女の子の遊び」などと、子どもの遊び方について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。
- エ 「男の子だから家事をすることはない」などと、育児、家事、介護などについて、性差への先入観による固定的な対応をしていない。
- オ 「それは男(女)の子の仕事」などと、職業について、性差への先入観による固定的な対応をしていない。

【総合判断基準】

- a.よく配慮されている。
- b.どちらかといえば配慮されている。
- c.配慮されていない。

I-4-(22) 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。

【判断基準】

22

- ア 授乳は、子どもが欲しがるときに、抱いて目をあわせたり、微笑みかけたりしながらゆったりと飲ませている。
- イ 離乳食については、家庭と連携をとりながら、一人一人の子どもの状況に配慮して行っている。
- ウ おむつ交換時は、やさしく声をかけたり、スキンシップをとりながら行っている。
- エ 一人一人の生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている。
- オ 外気に触れたり、戸外遊びを行う機会を設けている。
- カ 喃語には、ゆったりとやさしく応えている。
- キ 顔を見合ってあやしたり、乳児とのやりとりや触れ合い遊びを行っている。
- ク たて抱き、腹這いなど、子どもの姿勢を変えている。
- ケ 寝返りのできない乳児を寝かせる場合には仰向けに寝かせている。
- コ 特定の保育者との継続的な関わりが保てるよう配慮している。

【総合判断基準】

- a.よく配慮されている。
- b.どちらかといえば配慮されている。
- c.配慮されていない。

I-4-(23) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。

23

【判断基準】

- ア 家庭的な雰囲気を感じられる。
- イ 好きなことをしてくつろげる空間や遊具がある
- ウ 長時間保育を受ける子どもに夕食や軽食が提供されている
- エ 一人一人の子どもの要求に応じて、抱いたり、声をかけるなど、ゆったりと接している。
- オ 異年齢の子ども同士で遊べるように配慮されている。
- カ 子どもの状況について、職員間の引継ぎを適切に行っているか。

【総合判断基準】

- a.よく配慮されている。
- b.どちらかといえば配慮されている。
- c.配慮されていない。

I-4-(24) 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。 24

【判断基準】

- ア 障害のない子どもの、障害児への関わりに対して配慮している。
- イ 園舎はバリアフリーの配慮がみられる。
- ウ 障害児の特性に合わせた園での生活の仕方の計画が立てられている。
- エ 障害児保育について保育所全体で定期的に話し合う機会を設けている。
- オ 障害児保育に携わる者は、障害児保育に関する研修を受けている。
- カ 医療機関や専門機関から相談や助言を必要に応じて受けられる。
- キ 保護者に、障害児に関する適切な情報を伝えるための取り組みを行っている。

【総合判断基準】

- a.よく配慮されている。
- b.どちらかといえば配慮されている。
- c.配慮されていない。

I-4 保育内容の特記事項

II. 子育て支援

II-1 入所児童の保護者の育児支援

II-1-(1) 一人一人の保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。 25

【判断基準】

- a) 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加えて、別の機会を設けて相談に応じたり個別面談などを行っている。
- b) 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換を行っている。
- c) 一人一人の保護者と、子どもについて情報交換を行っていない。

II-1-(2) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。

【判断基準】

26

- a) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。
- b) -
- c) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されていない。